

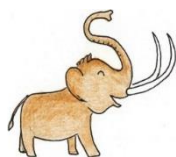
ふるさと忠類の年表



牛の放牧（町営共栄牧場）

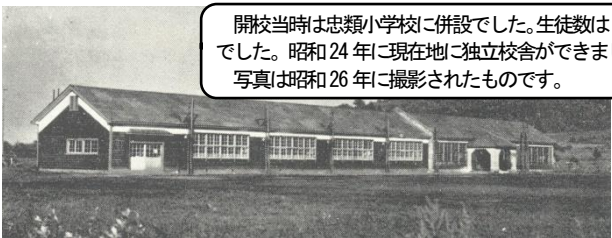
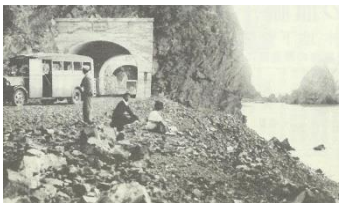


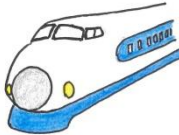
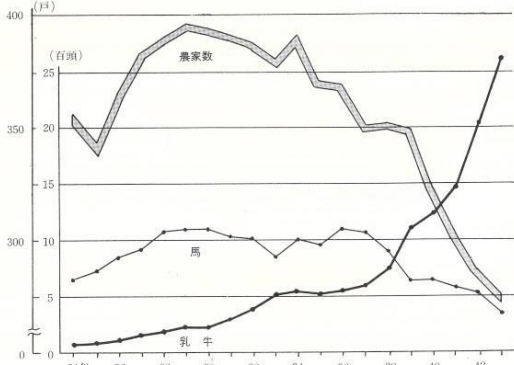
ナウマン象が生きていた時代から、
忠類村の時代までの年表だよ。

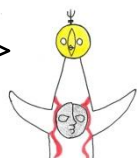


ふるさと忠類の年表

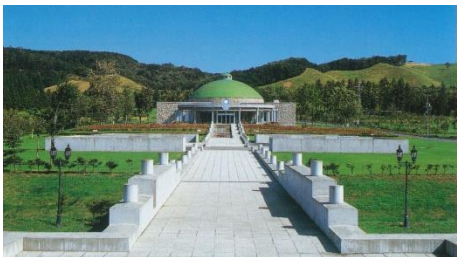
時 代	忠 類 の 出 来 事	国・北海道・十勝の出来事
約 12 万年前	ナウマン象が生息していた。(前期旧石器時代) 忠類ナウマン象化石の復元骨格は23体作られ、日本のほか海外の博物館にも展示されているよ。 くわしくはナウマン象記念館に書いてあるよ。	
約 3 万年前	人が石器を使って生活していた。(後期旧石器時代)	
約 1 万年前	人が土器を焼いて生活に使っていた。(縄文時代)	
江戸時代	私は松浦武四郎。伊勢の国の生まれじゃ。 江戸時代の終わりに蝦夷地を探検し、択捉島や樺太へも渡ったんじゃ。私はアイヌの人々と調査を行い、地図にアイヌ語の地名をおよそ9,800か所書き入れたんじゃ。 私はアイヌの人々が自分の住む国を「カイ」と呼ぶことから、蝦夷地を「北加伊道」と命名したんじゃ。	- 幕府が蝦夷地を治めるようになる。(1855 安政2) - 松浦武四郎が十勝を探検する。(1858 安政5)
明治	※明治元年(1868)～明治45年(1912) 【当縁・茂寄村時代】 当時、当縁村の忠類地区は未開の原野でした。岡田新三郎は、忠類地区に入り初めて開拓をしました。「忠類開拓の祖」と呼ばれています。場所は、丸山の南側の麓で当縁川のほとりでした。一人で開拓を進めた3年間の様子は「岡田新三郎日誌」に書き綴られています。 では、岡田新三郎が初めて栽培した作物は何だったでしょう？ 「ゴボウ」「アイ」「オカボ(陸稲)」と日誌に記されています。 岡田新三郎 - 群馬県人の岡田新三郎が丸山付近を開拓する。(明治27) - 岡田新三郎により丸山山頂に丸山神社が創建される。(明治27) - 新潟県人の鈴木久太郎ら7人が下当縁付近を開拓する。(明治30) - 当縁川デンプン工場ができる。(明治35) - 海島三四郎が中当地区に牧場をつくる。(明治37) - 下当縁から忠類まで道路ができる。(明治38) - 忠類特別教育所(忠類小学校)が開所する。(明治41)	- 蝦夷から北海道になる。(明治2) - 十勝に7郡51村がおかれる。(明治2) - 手宮～札幌間に鉄道が開通する。(明治13) - 生花苗に牧場がつくられる。(明治19) - 大津～芽室間に道路ができる。(明治26) - 日清戦争がおきる。(明治27) - 日露戦争がおきる。(明治37) - 釧路～帯広間に鉄道が開通する。(明治38) - 帯広～旭川間に鉄道が開通する。(明治40) - 帯広に電話が開通する。(明治43)
大正	※大正元年(1912)～大正15年(1926) - 糠内～忠類間に道路が開通する。(大正2) - 帯広～大樹間に新道が開通する。(大正4) - 歴舟尋常小学校忠類特別教育所となる。(大正6) - 広尾郡忠類尋常小学校となる。(大正10) 運動会の様子 茂寄村から広尾村に村名をかえる。(1926 大正15) 元忠類、明和地区に水田がつくられる。(大正末)	- 帯広に電灯がつく。(大正2) - 第一次世界大戦が始まる。(大正3) - 札幌に飛行場ができる。(大正8) - 大正村に製糖工場ができる。(大正9) - 十勝で大洪水がおきる。(大正11) - 関東大震災が起きる。(大正15) - 十勝岳が噴火する。(大正15) 関東大震災 浅草の様子

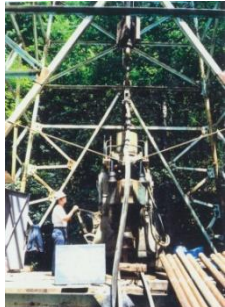
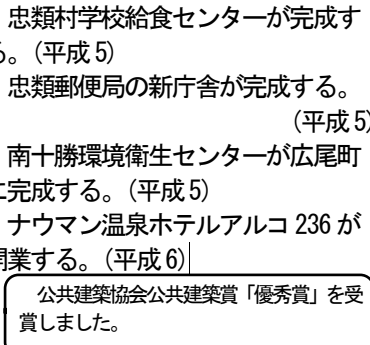
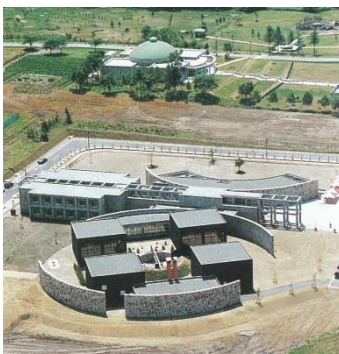
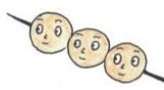
	忠 類 の 出 来 事	国・北海道・十勝の出来事
昭和	※昭和元年(1926)～昭和64年(1989) 【大樹村時代】 ・ 広尾村から分村して大樹村となる。(昭和3) ・ 帯広～大樹間に鉄道が開通し、忠類駅が開業する。(昭和5) ・ 忠類市街に電灯がつく。(昭和5) ・ 白銀台スキー場が開場する。(昭和6)  駅からスキー場へ向かう人々 帯広駅からスキー列車が仕立てられました。客車は忠類駅構内に停車したままで、乗客の昼食や休憩に利用されました。 帯広ー忠類間の運賃は、1円25銭でした。(昭和15年資料より) ・ 幌内特別教授場(明和小学校)が開校する。(昭和7)  開校当時は、校地面積一町歩、校舎面積47坪、物置2棟、児童数40名でした。 ・ 忠類郵便局が開局する。(昭和8) ・ 忠類診療所が設置される。(昭和8) ・ 忠類市街に電話が開通する。(昭和11) ・ 西当縁尋常小学校が開校する。(昭和11)  開校当時は、校地面積12,600坪、校舎面積96.8坪、児童数54名でした。 ・ 中当縁特別教授場(中当縁小学校)が開校する。(昭和13)  開校当時の校地面積、校舎面積等の記録は残っていません。児童数は49名でした。 ・ 小学校が国民学校に改名する。(昭和16) ・ アメリカ軍機が来襲する。(昭和20) ・ 大樹村役場忠類出張所を開設する。(昭和22) ・ 国民学校が小学校と改名する。(昭和22) ・ 忠類中学校が開校する。(昭和22)  開校当時は忠類小学校に併設でした。生徒数は114名でした。昭和24年に現在地へ独立校舎ができました。写真は昭和26年に撮影されたものです。	・ 黄金道路の工事が始まる。(昭和2) ・ 札幌放送局が開局する。(昭和3)  昭和3年6月5日午前11時「JOIKこちら札幌放送局であります。」と発せられた言葉が、北海道で初めての放送です。 ・ 黄金道路が完成する。(昭和9)  広尾村(現広尾町)から幌泉村(現えりも町)までの国道336号線を通称「黄金道路」と呼びます。金を敷き詰めたように資金が費やされた道路というのが名前の由来です。 ・ 帯広放送局が開局する。(昭和11) ・ 日中戦争が始まる。(昭和12) ・ 第二次世界大戦が始まる。(昭和14) ・ 十勝大橋ができる。(昭和15) ・ 太平洋戦争が始まる。(昭和16) ・ 昭和嶺山が噴火する。(昭和19) 畑が噴火によって隆起し、翌20年には標高407mになりました。現在の標高は398mです。温度低下や浸食によって縮んだり崩れたりしたためです。 ・ アメリカ軍機が空襲する。十勝・幕別で被害がでる。(昭和20) 止若市街空襲跡地(幕別町新町) 空爆でえぐられた地面  ・ 太平洋戦争が終わる。(昭和20) ・ 日本国憲法が公布(昭和21)施行される。(昭和22)

	忠 類 の 出 来 事	国・北海道・十勝の出来事
昭	- 忠類村に初めて新消防自動車が配備される。(昭和33) - フラフープが流行する。(昭和33)  	- 東京タワーが開業する。(昭和33) 正式には「日本電波塔」と言います。テレビおよびFMラジオのアンテナとして放送電波を送出しています。 完成当初は日本一高い(333m)建造物でした。 - NHKなどカラーテレビ放送を開始する。(昭和35) カラーテレビの価格は、53万円でした。重さが100kgもあったため移動させることは困難でした。 当時のサラリーマンの平均月収は、約4万円でした。
	- 乳牛が500頭を超す。(昭和33) - 中当開拓地の電化が実現する。(昭和34) 農家17戸、中当緑小中学校、中当緑開拓診療所が電化となりました。 <戸数628戸 人口3,737人(昭和34)> - 忠類小学校の校歌ができる。(昭和36) - 忠類村商工会が新発足する。(昭和36) - 国道236号線大樹～忠類間が開通する。(昭和37) - 忠類村でゆり根栽培が始まる。(昭和37) - 明和・幌内・上当緑地区の電化が完了する。(昭和38) - 国道236号線の忠類市街区間が舗装される。(昭和38)  	- 十勝岳が噴火する。(昭和37) - 帯広動物園が開園する。(昭和38) - 東海道新幹線が開業する。(昭和39)  「夢の超特急」と言われました。東京大阪間を4時間でむすびました。 - 東京オリンピックが開催される。(昭和39)  10月10日の開会式は、雲一つない秋晴れの下で行われました。この日に開会式を決定した理由は諸説ありますが、「晴れの特異日」だったという説が有力です。ただ、前日から当日の夜半にかけての雨は、関係者の気をませました。 大会では、日本選手は金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個と大活躍しました。とりわけ、女子バレーの日本チーム「東洋の魔女」の金メダルは話題になりました。海外勢では、マラソン(当時は男子のみの開催)の「裸足の英雄」アベベ・ビキラ選手の大会連覇、女子体操の「オリンピックの名花」ベラ・チャスラフスカ選手の跳馬・平均台・個人総合で金メダル、柔道無差別級の「礼を重んじた」アントン・ヘーシンク選手の金メダルなどが話題になりました。
和	 「乳牛・馬・農家戸数の推移」のグラフです。 農家戸数の減少に反して、乳牛の頭数は増加していきました。また、開拓の担い手として活躍した農耕馬は、その活躍場所が少なくなったことと、農業機械が導入されるようになったことで、徐々に頭数が減少していきました。 - 生花・晩成・中当・古里地区の電化が完了する。(昭和39) - 乳牛が1000頭を超す。(昭和39) - 忠類村ゆり根耕作組合が発足する。(昭和40) 31戸の組合員で発足しました。その後、最大42戸の組合員まで増加しました。 - 村営共栄牧場を造成する。(昭和40) 草地面積150ha、初年度は127頭でした。 昭和46年には、全国草地コンクールの集約牧野の部で特別賞を受賞しました。 - 牛の人工授精が始まる。(昭和42) - 乳牛が2000頭を超す。(昭和43) 	- 帯広空港が開港する。(昭和39) 当時の空港法で、第三種空港(地方自治体が地域的な航空輸送のために設置する空港)として開港しました。 開港当時の滑走路は1,200mでした。昭和56年にとかち帯広空港となった時に2,000mとなり、昭和60年にはさらに延長され2,500mとなりました。 - 道旗と道章が決まる。(昭和42) - 小笠原諸島が返還される。(昭和43)

	忠 類 の 出 来 事	国・北海道・十勝の出来事
昭 和	- 学校給食が始まる。(昭和44) 大樹忠類学校給食組合を設立し、大樹町と共同で行いました。 - ナウマン象の化石骨が発見される。(昭和44)  - 忠類村村民憲章を制定する。(昭和44) <戸数663戸 人口3,006人(昭和44)> - ナウマン象の化石発掘調査でほぼ全身骨格化石が発掘される。(昭和45)  - 村民体育館が完成する。(昭和45) - 中当縁小・中学校が忠類小・中学校に統合される。(昭和46) - 村立歯科診療所が開設される。(昭和46) - 白銀台スキー場にリフトが設置される。(昭和46) - 農村に集団電話が開通する。245戸(昭和47) - 明和小学校が忠類小学校に統合される。(昭和47) - 村民プールが完成する。(昭和47) - 白銀台スキー場ロッジが完成する。(昭和47)  - 忠類地区に簡易水道が引かれる。296戸(昭和48) - 白銀霊園が造成される。(昭和48) - 西当縁小学校が忠類小学校に統合される。(昭和49) 中当縁小学校、明和小学校、西当縁小学校が、忠類小学校に統合され、一村一小学校となりました。  - 村総合グラウンドが完成する。(昭和49)	「サザエさん」テレビ放送開始。(昭和44) 原作マンガは、新聞に連載された4コママンガでした。新聞には6,477話掲載されました。テレビ放送の前には、昭和30年から10年間ラジオドラマの放送も行われました。  - パンタロンスタイルが流行する。(昭和44) - 日本万国博覧会が開催される。(昭和45) “世界の国から こんにちは” 「人類の進歩と調和」をテーマに大阪で約6か月間開催されました。 約6,420万人の入場者数を数えました。連日、各パビリオン(展示館)には長蛇の列ができました。 岡本太郎氏のデザインによる太陽の塔は、テーマ館の一部として作られました。  - 札幌の地下鉄が開通する。(昭和46) - 青函トンネルの本工事が始まる。(昭和46) - 札幌冬季オリンピックが開催される。(昭和47) “日の丸飛行隊”誕生 スキージャンプ70m級(現在のノーマルヒル)で、笠谷幸生選手が金、金野昭次選手が銀、青地清二選手が銅と、日本人が冬季オリンピックで表彰台を独占しました。この時から“日の丸飛行隊”と呼ばれるようになりました。  - 沖縄が返還される。(昭和47) - 根室沖地震が発生する。(昭和48) 忠類は、震度4であったと推定されます。幸い大きな被害はありませんでした。 - 第一次石油ショックが起きる。(昭和48) きっかけは、第4次中東戦争でした。原油価格が4倍に跳ね上がり、石油消費国の我が国は大きく混乱しました。「石油供給が途絶え、物不足になるのでは？」と不安感が人々を買いだめ・買占めに走らせました。売り惜しみ・便乗値上げをする店舗も現れ、店頭からトイレトペーパーや洗剤が消えました 

	忠 類 の 出 来 事	国・北海道・十勝の出来事
昭 和	- 埼玉県上尾市の児童との交流が開始される。(昭和50)   - 丸山黄金伝説で埋蔵金を掘る人が現れる。(昭和50) 砂金が鹿皮に包まれ、木箱80箱につめられて、 地下11mに眠っている！  - 電話がダイヤル式になる。(昭和51)  <戸数 622 戸 人口 2,370 人(昭和54)> - 忠類中学校の新校舎が完成する。(昭和55)  - スキー場に5棟の宿泊ロッジが完成する。(昭和56)  この時、三人までの使用で、一人一泊2,000円と決められました。約40年たった今でも、この料金はほとんど変わっていません。寝具・バス・トイレ・調理器付きキッチン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機・掃除機と申し分のない設備のロッジです - 村の木シラカバ、村の花シバザクラが制定される。(昭和56) 全戸アンケートを実施しました。その結果をもとに村内有識者8名による審議委員会で話し合われました。シラカバもシバザクラもアンケートの回答が一番多かったです。 - 学童保育が開始される。(昭和56) - 忠類小学校の新校舎が完成する。(昭和58)   - 第1回自作そり滑走競技大会が開催される。(昭和59) 第2回大会から忠類全道自作そり滑走選手権大会の名称になりました。そして第8回大会から忠類ナウマン全道そり大会の名称になりました。 そりの材質がダンボールのみになったのは第11回大会からです。スピードが出すぎて危険だと判断されたためでした。	- 山陽新幹線が博多まで開通する。(昭和50)  - 黒ひげ危機一髪が発売される。(昭和50)  - およげ！たいやきくんがヒットする。(昭和51) - 学校給食に米飯が導入される。(昭和51) - 有珠山が噴火する。(昭和52) - 新東京国際空港(成田国際空港)が開港する。(昭和53) - 第二次石油ショックが起きる。(昭和54) きっかけは、イラン革命でした。第一次石油ショックで省エネルギー対策が浸透していたため、第一次のような騒動にはなりません。深夜のテレビ放送の自粛、第一次でも実施されたガソリンスタンドの日曜祝日休業等が行われました。 - 新帯広空港が開港する。(昭和56) 黒川紀章氏による設計です。十勝平野の田園風景に調和するような色調が使われています。  - 北方圏農林博覧会(十勝博)が開催される。(昭和57) 帯広市開基100年を記念して、十勝をはじめとした日本農業の最先端技術による未来像を展示するものでした。 - 積木くずしの本がベストセラーとなる。(昭和58) 俳優の穂積隆信氏が、突如不良少女となった実娘のことを赤裸々に描いた内容が反響を呼びました。テレビドラマ化、映画化、舞台化までされました。 - オーストラリアから日本へコアラが6頭贈られてきました。それをきっかけに、コアラのマーチのお菓子が発売されヒットしました。(昭和59)  - 十勝ダムが完成する。(昭和59)

	忠 類 の 出 来 事	国・北海道・十勝の出来事
昭 和	- 南十勝消防組合忠類支所でタンク付き消防車を購入する。(昭和60) - 南十勝廃棄物処理センターが大樹町に完成する。(昭和61) - 国鉄広尾線が廃止される。(昭和62) - 忠類駅跡地に交通公園ができる。(昭和62)   旧広尾線で、待合室のみの駅を含め旧駅舎が残されているのは、愛国駅、幸福駅、大樹駅、広尾駅、忠類駅のわずか5箇所です。 - ナウマン象記念館が完成する。(昭和63)  第1回「北海道建築賞知事賞」を受賞！ 上空から見ると、ナウマン象をイメージした造りになっています。本館が胴体、四隅の展示部分が四肢、正面玄関が頭、正面の歩道とポーチが鼻と牙を表しています。 - 特産物販売センター兼レストラン忠類が完成する。(昭和63)  - 風見ナウマン象の街路灯が登場する。(昭和63) 	- 帯広の森スピードスケートリンクが完成する。(昭和60) - 三原山が噴火する。(昭和61) - 札幌で第1回アジア冬季競技大会が開催される。(昭和61) - 国鉄が民営化される。(昭和62)  日本国有鉄道(国鉄)はJapan Railwaysとなりました。六つの地域別旅客鉄道株式会社と一つの貨物鉄道株式会社に分割されました。 - 釧路湿原が国立公園に指定される。(昭和62) - 青函トンネルが開業する。(昭和63) - 十勝海洋博が広尾で開催される。(昭和63) 広尾町開町120年を記念して、シーサイドパーク広尾と十勝港が会場となりました。産業の振興と地域活性化を図る目的で開催されました。 - 十勝岳が26年ぶりに噴火する。(昭和63)  北海道駒ヶ岳噴火史より 昭和64年は何日あったでしょう？ 1月7日までが昭和64年でした。わずか7日間でした。
平 成	※平成元年(1989)～平成31年(2019) - ナウマン公園が開設される。(平成元)  竹下登首相が提唱した「ふるさと創生事業」の具体策として地方自治体に一律一億円の「ふるさと創生資金」が交付されました。 忠類村では、住民や役場職員からアイデアを募集し、それらをもとに「ふるさと創生会議」で話し合われました。一億円は、観光案内板の設置、温泉の開発、人づくり基金、ナウマン公園の整備に使われました。 - 忠類村社会福祉協議会が発足する。(平成元) ＜戸数660戸 人口2,201人(平成元)＞ - 忠類保育所が完成する。(平成2)	- 大相撲初場所の初日が月曜日になる。(平成元) 1月8日から開催予定でしたが、昭和天皇崩御を受けて1日遅延されました。本場所が15日制になって以降、初日が日曜日以外となったのは初のケースでした。 - 帯広で国体スケート大会(はまなす国体)が開催される。(平成元) - 消費税法が施行され、消費税率3%となる。(平成元) - 札幌で第2回アジア冬季競技大会が開催される。(平成2) 

忠 類 の 出 来 事	国・北海道・十勝の出来事
 ・ なみき排水路公園が完成する。(平成3) ・ ボーリングが難航するも温泉が噴出する。(平成4)   ・ 丸山展望台が完成する。(平成4)   ・ ナウマン象記念館周辺が道の駅に登録される。(平成5) ・ 忠類村学校給食センターが完成する。(平成5) ・ 忠類郵便局の新庁舎が完成する。(平成5) ・ 南十勝環境衛生センターが広尾町に完成する。(平成5) ・ ナウマン温泉ホテルアルコ 236 が開業する。(平成6) 公共建築協会公共建築賞「優秀賞」を受賞しました。  ・ 忠類診療所を新築する。(平成6) ・ 忠類村観光協会が発足する。(平成8) ・ 第1回どんとこい村祭りを開催する。(平成8) ・ パオ君登場(平成9) ・ ふれあいセンター福寿を開設する。(平成9) ・ ナウマン公園パークゴルフ場チャンピオンコースが開場する。(平成11) ・ ナウマン象記念館前のナウマン象親子の像が完成する。(平成11) <戸数 674 戸 人口 1,836 人(平成11)> ・ 忠類村史が完成する。(平成12)  ナウマン象発掘跡地模型 ・ ナウマン象発掘跡地に産状模型と歌碑を建立する。(平成14) ・ 幕別町・更別村と十勝中央合併協議会を設置する。(平成15) ・ 十勝中央合併協議会から更別村が離脱する。(平成16) ・ 日本テレビ系列「日本列島ダーツの旅」に忠類村が当たる！(平成17) ・ 百合根の丸蒸しと鹿肉料理が紹介されました。 ・ 幕別町との合併が決定する。(平成17) ・ 幕別町と合併する。(平成18.2.6) <戸数 741 戸 人口 1,854 人(平成18 幕別町との合併直前)>	・ 北海道立帯広美術館が完成する。(平成3) ・ 札幌でユニバーシアード冬季競技大会が開催される。(平成3) ・ NTTが携帯電話第一世代movaのサービスを開始する。(平成3) 世界最小・世界最軽量の携帯電話でした。端末はレンタルでした。 ・ 新千歳空港新ターミナルビルが開業する。(平成4) ・ 毛利衛さんが宇宙飛行をする。(平成4)  毛利衛さんがアメリカのスペースシャトルエンデバー号で飛び立った9月12日は「宇宙の日」と制定されました。 ・ 北海道南西沖地震が発生する。(平成5) ・ サッカーJリーグが開幕する。(平成5) 全10チームが、各節水曜日と土曜日に対戦しました。  ・ 帯広でワールドカップ大会(スピードスケート)が開催される。(平成6) ・ 釧路東方沖地震が発生する。(平成6) ・ 阪神淡路大震災が発生する。(平成7) ・ 消費税が5%となる。(平成9) ・ 長野冬季オリンピックが開催される。(平成10) ・ だんご三兄弟がヒットする。(平成11)  ・ 有珠山が噴火する。(平成12)  北海道駒ヶ岳噴火史より ・ FIFA 日韓ワールドカップが開催される。(平成14) ・ 十勝沖地震が発生する。(平成15) 忠類は震度6弱でした。牛舎の損壊、道路の決壊等の物的被害は大きかったのですが、人命に係わる事故はありませんでした。 ・ 郵政事業が民営化される。(平成15) ・ 愛知県で愛・地球博が開催される。(平成17)